

MySQL 設定方法

Windows 2000 に MySQL を導入する際の初期設定方法を解説します。

インストール

mysql-3.23.49-win.zip を適当な場所に解凍します。

解凍後のフォルダにある SETUP.EXE を実行し、ウィザードの指示に従ってインストールします。以下ではインストール中に全て「次へ」を選択し、C:\MySQL にインストールしたと仮定します。

ユーザ名・パスワードの設定

まず C:\MySQL\bin にある WinMySQLAdmin.exe を実行します。

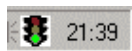


ここでユーザ名とパスワードを入力して OK をクリックします。

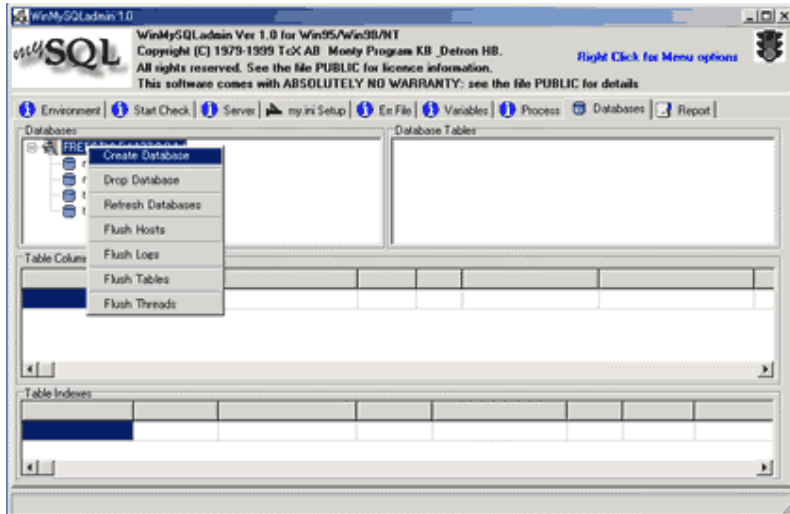
これは DB にアクセスする際に必要となるもので、Java アプリケーションでもこれを使います。

WinMySQLAdmin の起動と DB の作成

タスクトレイに下のようなアイコンが現れます。



アイコンを右クリックして、メニューから「Show Me」を選ぶと次のような画面が現れます。



データベースの作成

Database タブを選択します。

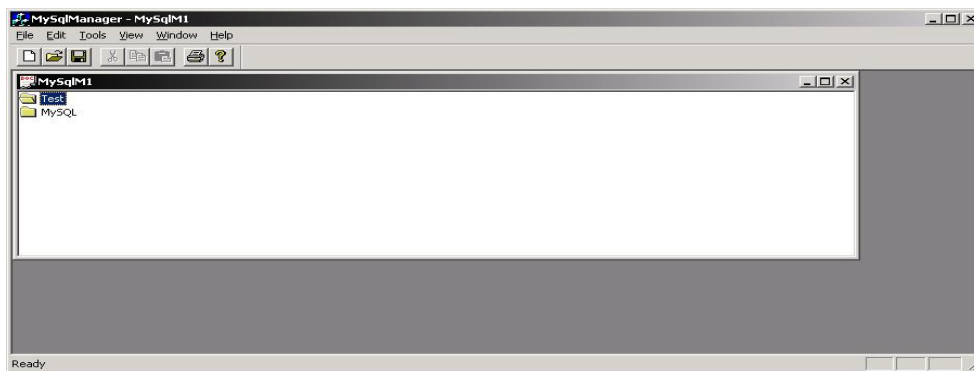
左上のウィンドウ内で右クリックから Create Database を選択します。

ダイアログに適切なデータベース名（ここでは "mydb" とします）を入力し、Create the Database を選択します。

データベースの作成はこれで終わりです。ウィンドウの右上、信号マークの上で右クリック hide me を選択し、タスクトレイに格納しておきます。

MySQLManager の使い方

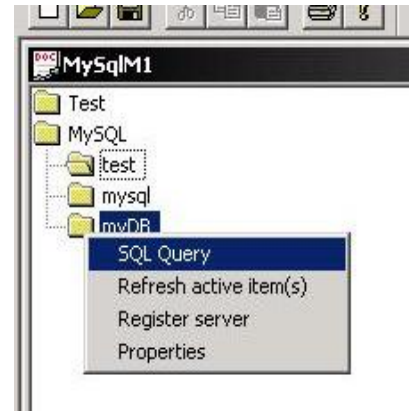
C:\mysql\bin フォルダ中の MySQLManager.exe を実行すると、下のような画面が立ち上がります。



Test と MySQL というフォルダの様なアイコンが表示されていますが、この一つが DB サーバーとなります。

メニューの Tools → Register Server から新規に DB サーバーを登録することができますが、ここでは MySQL という名前のサーバーを使用します。

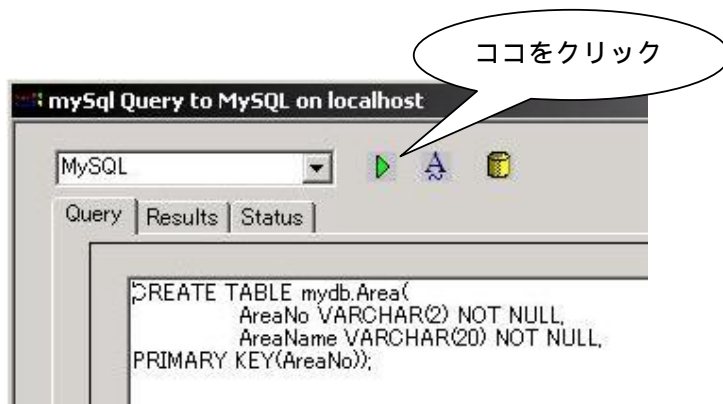
MySQL サーバーをクリックしてツリー展開すると、先ほど作成した mydb テーブルが現れます。



mydb をポイントして右クリック → SQL Query を選択します。

SQL を入力する画面が表示されます。とりあえずテーブルを作成する SQL 文を貼り付けます。試しに以下の文を貼り付けてみてください。

```
CREATE TABLE mydb.Area(  
    AreaNo VARCHAR(2) NOT NULL,  
    AreaName VARCHAR(20) NOT NULL,  
    PRIMARY KEY(AreaNo));
```



次に上の緑の矢印をクリックするとタブが Result に変わります。

空白ならテーブル作成は成功です。

文法エラーなどで失敗するとエラーメッセージが表示されるので、Query タブに戻って確認してください (SQL 文行末のセミコロン後にスペースが入るとエラーになります)。

同様に INSERT, SELECT などの SQL 文もこのウィンドウから発行できます。

コマンドプロンプトからの使用

コマンドプロンプトから C:\MySQL\bin にカレントディレクトリを移動します。

ここで、"mysql" と入力すると、SQL 文を受け付けるようになります。

```
C:\> cd MySQL\bin

C:\MySQL\bin> mysql
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or \g.
Your MySQL connection id is 12 to server version: 3.23.49-nt

Type 'help;' or '\h' for help. Type '\c' to clear the buffer.

MySQL>
```

この状態で SQL 文を入力します。

```
MySQL> select *
-> from mydb.area
-> ;

Empty set (0.01 sec)
```

ここではデータベース mydb の area テーブルにはデータが存在しないので、Empty set と表示され、検索にかかった時間が表示されています。

また、上のように Enter キーを入力しても、セミコロンが入るまでは SQL 文は発行されません。

.sql ファイルの食べさせ方

ファイルに記述した複数の SQL 文を一度に実行させることができます。この機能を使って、テーブル作成～サンプルレコードの挿入を一度の操作で行うことができます。

例) 先ほど作成した mydb にデータを挿入します。エディタで下のようなテキストファイルを作成し、myquery.sql という名前で保存します。

```
INSERT INTO Area(AreaNo,AreaName) VALUES('01','北海道');
INSERT INTO Area(AreaNo,AreaName) VALUES('02','東北');
INSERT INTO Area(AreaNo,AreaName) VALUES('03','関東');
INSERT INTO Area(AreaNo,AreaName) VALUES('04','北信越');
INSERT INTO Area(AreaNo,AreaName) VALUES('05','東海');
INSERT INTO Area(AreaNo,AreaName) VALUES('06','近畿');
INSERT INTO Area(AreaNo,AreaName) VALUES('07','中国');
```

コマンドプロンプトから以下のように入力します。

```
mysql> connect mydb
Connection id: 13
Current database: mydb

mysql > source myquery.sql
Query OK, 1 row affected(0.00 sec)

Query OK, 1 row affected(0.00 sec)

Query OK, 1 row affected(0.00 sec)

mysql >
```

これでテーブルにデータが挿入されたはずですが。

SELECT 文を実行して確認してみます。

```
mysql> select * from area;
+-----+-----+
| AreaNo | AreaName |
+-----+-----+
| 01     | 北海道   |
| 02     | 東北     |
| 03     | 関東     |
| 04     | 北信越   |
| 05     | 東海     |
| 06     | 近畿     |
| 07     | 中国     |
| 08     | 四国     |
| 09     | 九州     |
| 00     | 北海道   |
+-----+-----+
10 rows in set (0.02 sec)

mysql>
```

上の様に表示されたら成功です。

上の例では省略してありますが、コマンド中のファイル名は絶対パスで入力する必要があります。

“quit” コマンドでMySQL との接続を切断します。

```
mysql> quit
Bye
C:\MySQL\bin>
```

- 参考文献 MySQL 徹底入門 日本 MySQL ユーザー会 著 (翔泳社)
- 参考 URL MySQL for Win32 memo <<http://www.asahi-net.or.jp/~pq6a-tsmt/poco/mysql/mysql>>
日本 MySQL ユーザー会 <<http://www.mysql.gr.jp/>>